

市区町村名	愛媛県愛南町	担当部署	総務課
		電話番号	(0895) 72-1211

1 取組事例名

- ・まさに県・市町連携！全国初の「愛媛県と愛南町の合同庁舎建設」

2 取組期間

- ・平成 26 年度～28 年度

3 取組概要

- ・新庁舎の建設における愛南町役場と愛媛県愛南庁舎との行政機能を集約した「官・官」の合同庁舎を建設することにより、地方の中でもへき地と言われる本町の行政手続を 1 か所でできるようにし、住民へのサービスの向上を果たすものである。

4 背景・目的

- ・平成 16 年 10 月に町村合併で誕生した愛南町は、旧城辺町庁舎(S47 年築)を使用していたが、老朽化やスペースが狭小なため行政機能が拡散していた。平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災により、行政機能の危機管理の重要性が一層認識されることになり新庁舎の建設の第一歩を踏み出すこととなった。愛媛県愛南庁舎(昭和 43 年築)との合同庁舎を建設するプランが浮上し、建設費用や維持管理のコストカットや地方の行政手続を 1 か所でできるようになることなど、住民の利便性の向上も図れ、メリットが大きく、県と町の合同庁舎建設が現実のものとなった。

5 取組の具体的内容

住 所：南宇和郡愛南町城辺甲 2420 番地
敷地面積：11,314.88 m²
建築面積：3,351.16 m²
延床面積：7,505.25 m²
階 数：地上 4 階(本館棟)
構 造：鉄筋コンクリート造耐震構造(本館棟)
総事業費：約 22 億円



6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・ 町役場の庁舎に県の出先機関が入る全国初の「県と町の合同庁舎」
- ・ 自然エネルギーを活かしたエコロジー庁舎
新庁舎の南北に面する各室は、窓面を大きく取って自然の通風、採光が得られるようになっている。
また、屋上には太陽光発電パネルで節電を図り、エネルギー監視システムの導入でエネルギーの見える化を実現している。

7 取組の効果・費用

- ・ ワンストップサービスの提供による住民サービスの向上
- ・ 土木、農林水産行政等における県と町の連携強化
- ・ 災害時における迅速な対応
- ・ 庁舎建設費用の削減（愛媛県が単独で庁舎建設した場合との差額が約77,000千円）

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

- ・ 愛媛県・市町連携推進本部会議の検討項目として、平成23年度より「県と町の合同庁舎化」について検討してきたが、検討当初、新庁舎建設候補地や新庁舎建設方法等の具体的な項目が未決定段階であったため、検討の進展が見られない状態が続いた。
また、合併特例債の適用期限延長も決定していない段階であったため、その当時の合併特例債の適用期限であった平成27年3月末までに「県との合同庁舎化」を踏まえた新庁舎建設事業を完了させることは極めて困難な状態であった。

9 今後の予定・構想

- ・ 「県と町の合同庁舎化」によるメリットを最大限活かせるよう双方の体制を整備し、さらなる連携強化を図る。

10 他団体へのアドバイス

- ・ 合同庁舎化に係る双方の財政負担から検討に取り掛かると、なかなか前に進まない。
まずは、合同庁舎化によるメリットを双方が見極め、基本合意を行うことが大切である。